



美浦のいま「スリランカ」

『アーユボーワン』…スリランカの言語であるシンハラ語で「こんにちは」という意味の挨拶です。なぜ、スリランカの挨拶から始めたかという、美浦村の外国人住民の総数は、令和6年4月時点で489人です。その中でも近年美浦村においてスリランカ国籍の住民が増えており、同時点で70人です（美浦村ホームページ「外国人住民の推移」より）。

そこで今回は美浦村に住むスリランカ出身のヘテン・ダヌスカさんにスリランカの食事についてお話を伺いました。

スリランカでは、1日3食朝昼晩、カレーを食べることはご存知ですか？スリランカカレーは街で見かけるインドカレーや欧風カレーとは異なり、数種類のカレーと米を皿に盛り付け、手で少しずつ具材を混ぜながら食べます。スリランカカレーには多くのスパイスやココナッツが使われており、日本のカレーよりもはるかに辛く、カレーの種類によって味も異なるそうです。ちなみにスリランカで人気のスパイスは、赤唐辛子だそうです。

スリランカカレーに欠かせないスパイスやインディカ米は、美浦村では手に入りにくいので、ヘテンさんは、「スリランカの食材を扱うお店があればいいな」という思いから、美浦村でスリランカ食材のお店を始めたとおっしゃっていました。

日本ではあまり馴染みのない「スリランカカレー」、一度食べてみてはいかがでしょうか。



→稲敷市にあるスリランカレストランの
スリランカカレー

←ヘテンさんのお店
で販売されているス
リランカのスパイス



地域おこし協力隊・松本麻衣子さん講師の 美浦ゼミ「『世界』に目をむけてみよう！」が実施されました

広報みほ7月号「地域おこし協力隊通信」にて紹介された講座に、8月20日と22日の2日間、村取材班がお邪魔しました！

この講座は、「『世界』に目をむけてみよう！」をテーマに、松本さんと、外国での生活を経験した美浦村地域未来塾の長谷川さん、武藤さんとともに、小学生高学年から中学生までを対象に実施されました。身近にある外国のものを探したり、その国の特徴を調べたり、クイズをとおして外国とのつながりや違いを学びました。参加した子どもたちは、見て、聞いて、体験し、目を輝かせながら楽しく学びました。



2024年新市町村振興宝くじ

ハロウィンジャンボ宝くじ

5億円

1等・前後賞合わせて
1等3億円、
前後賞各1億円

当選の
チャンス広がる！

ハロウィン ジャンボ宝くじ

1等・前後賞合わせて
1等3,000万円、
前後賞各1,000万円

5千万円

パソコンや
スマホで
ネット購入！

宝くじ公式サイト <https://www.takarakuji-official.jp/>

9月17日(火)

同時発売

発売期間 9月17日(火)～10月17日(木)
抽せん日 10月25日(金)

各1枚
300円

★この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。
★宝くじは、ぜひ茨城県内でご購入願います。

宝くじに関するお問合せ 0570-01-1192 [宝くじコールセンター]
公益財団法人 茨城県市町村振興協会